

2025年大阪・関西万博の 開催状況について

2025年7月7日

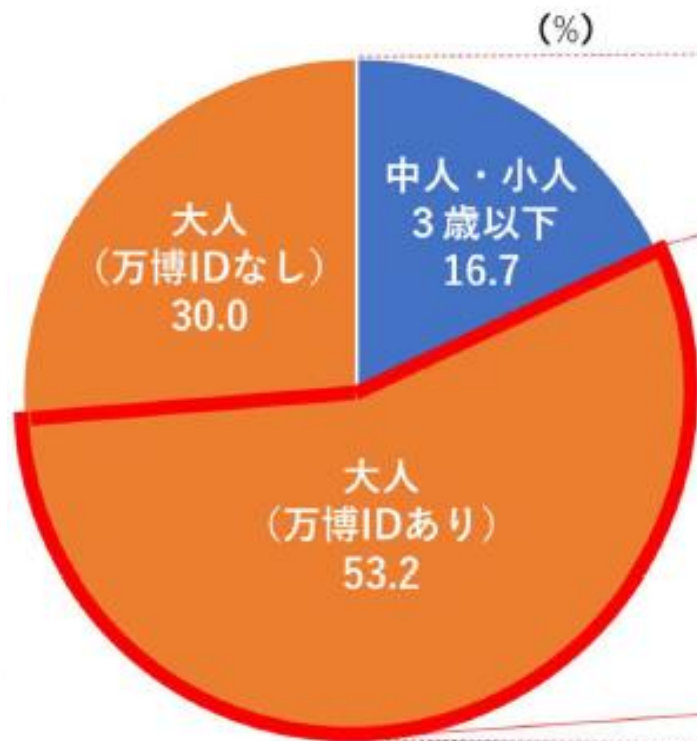
1. 来場者数の推移

- 累計来場者数は、6/29時点で1,000万人達成。
- 6/28は花火等のイベントがあり、過去最高の来場者数を記録（20.3万人）。

	来場者数(うちAD証入場者)		
第1週	4/13～19	639,875人	(114,938人)
第2週	4/20～26	739,780人	(120,654人)
第3週	4/27～5/3	753,699人	(123,059人)
第4週	5/4～10	771,530人	(126,724人)
第5週	5/11～17	878,739人	(123,805人)
第6週	5/18～24	952,056人	(123,376人)
第7週	5/25～31	1,067,841人	(127,663人)
第8週	6/1～7	1,026,533人	(127,086人)
第9週	6/8～14	988,268人	(128,656人)
第10週	6/15～21	1,045,964人	(126,163人)
第11週	6/22～28	1,031,021人	(125,406人)
合 計		9,895,306人	(1,367,530人)

※6/23協会理事会資料より抜粋

図1：チケット券種別
来場実績



入場に使われたチケット券種

- 大人:18歳以上
- 中人:12～17歳、
小人:4～11歳、3歳以下

図2：大人券で入場された方
のうち万博IDを登録されて
いる方の年代構成比

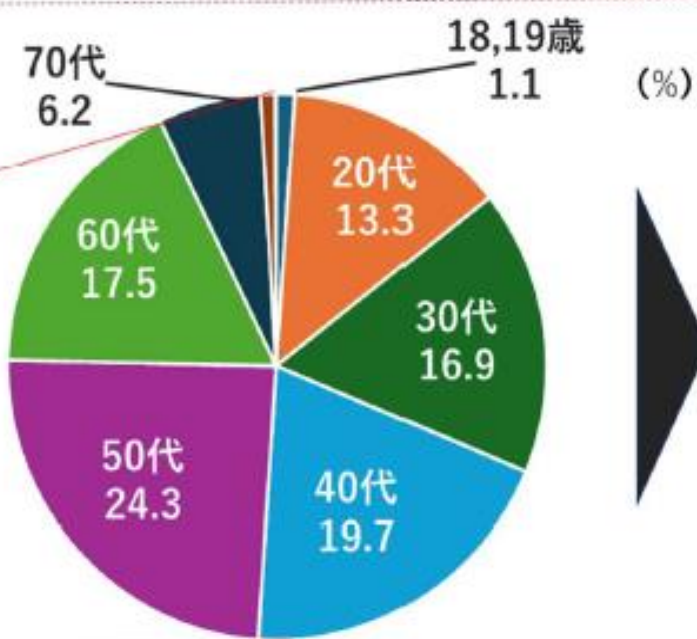
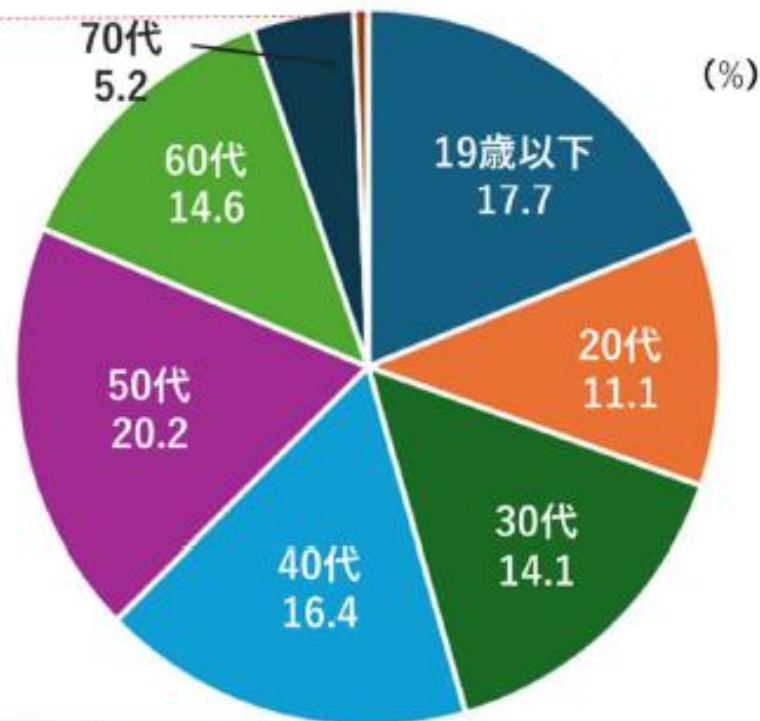


図3：チケット入場者の年代構成比
推計



※大人券で入場された方の年代構成比が、万博IDを登録されて入場された方の年代構成比 (図2) と同じであると仮定したうえで、中人・小人・3歳以下の来場割合 (図1) を足し合わせることで構成比推計

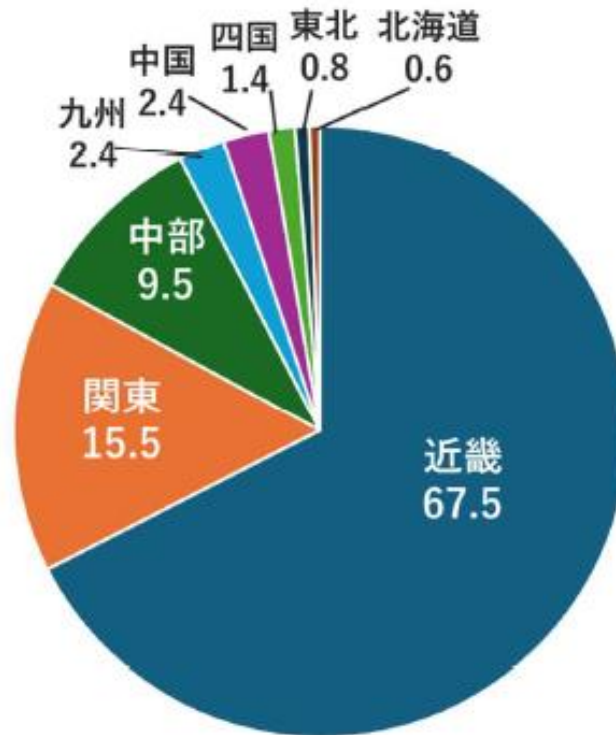
※6/23協会理事会資料より抜粋

＊万博IDでは居住地を選択

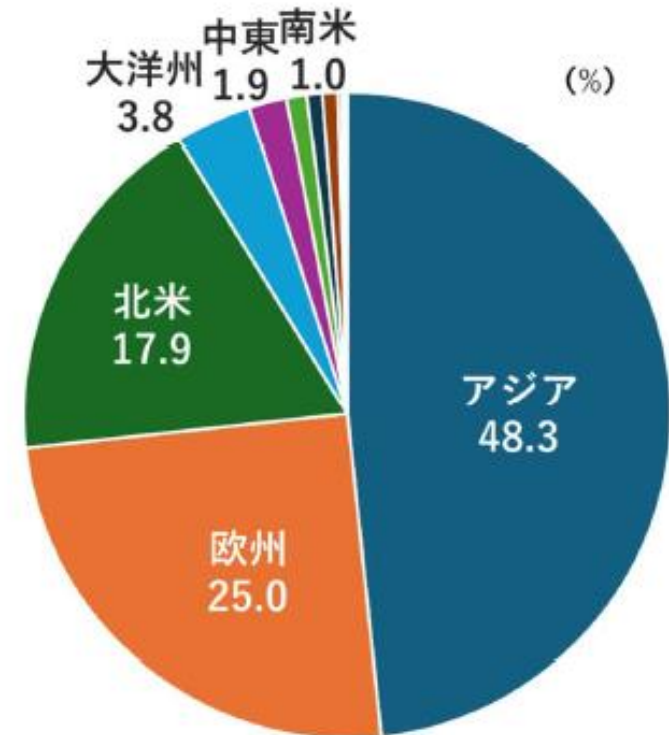
海外・国内
来場者構成比



国内



海外

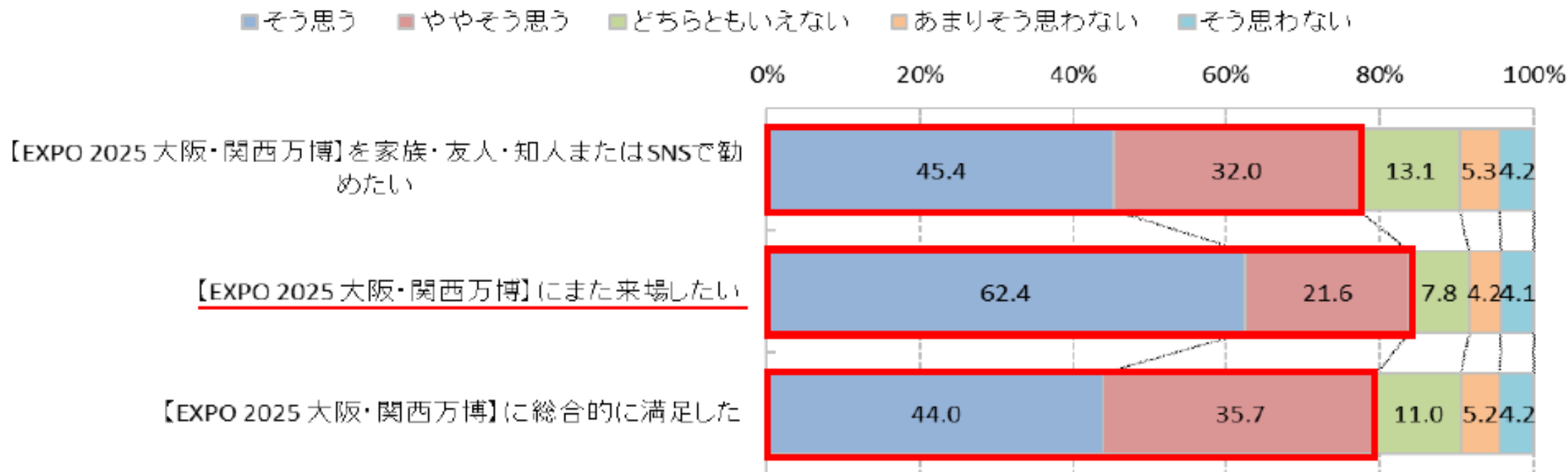


✓来場実績あり
169の国・地域

※6/23協会理事会資料より抜粋

【質問】

1. 大阪・関西万博を家族・友人・知人またはSNSで勧めたいと思いますか。
2. 大阪・関西万博に、また来場したいと思いますか。
3. 大阪・関西万博の総合的な満足度をお知らせください。



⇒高い、推奨、再来場意向、満足度

アンケート期間：4/13～4/30
n数：102,720人



チケット販売数(累計)		うち、会期前販売数
一日券	8,997,425 枚	7,613,333 枚
平日券	1,870,984 枚	－ 枚
夜間券	730,485 枚	－ 枚
特別割引券	317,060 枚	74,700 枚
通期パス	377,827 枚	57,866 枚
夏パス	139,573 枚	34,507 枚
3歳以下無料券	224,758 枚	53,151 枚
一般団体割引券	222,428 枚	45,003 枚
前期学校団体割引券	404,012 枚	23,289 枚
後期学校団体割引券	12,355 枚	4,428 枚
こども招待一日券	235,629 枚	222,750 枚
大人招待一日券	9,345 枚	7,740 枚
開幕券	454,949 枚	454,949 枚
前期券	1,100,685 枚	1,100,685 枚
合計	15,097,515 枚	9,692,401 枚

2. 来場者増加に向けた取組

※6/23協会理事会資料より抜粋

- 東ゲート・午前中の混雑の傾向が顕著。ゲート数が多い（東：27ゲート＜西：34ゲート）西ゲートの活用を行うべく各種取組を実施・準備中。

①西ゲートの活用について

開始日	方策	内容
5/24	P&R 駐車場の利用促進 ① 優先レーンの設置 ② 当日予約枠の開設 ③ 15時以降 予約枠の割引 ④ 障がい者枠の増設	① 西ゲートで優先レーンを設定し利用促進 ② 前日までの事前予約制から、当日予約枠可能に ③ 利用率が低い午後枠の利用向上 ④ 予約が困難となっていた障がい者用駐車場の増設
5/30	桜島シャトルバスの完全予約化	乗車率が高い午前（～ 10:30 ）を完全予約化し、全アクセスのフル活用促進
6/15	新規バス路線の開設①	ATC ⇒夢洲（西ゲート）のバス路線開設
6/16	歩行ルート開設	夢洲駅⇒西ゲートへの歩行ルート開設
6月下旬	新規バス路線の開設②※ P&R 駐車場・水上アクセスの利用促進※	コスモスクエア⇒夢洲（西ゲート）のバス路線開設 P&R ：優先レーン時間の拡大 水上アクセス：浮桟橋利用時間延長・優先レーン設置開始
7月上旬	外周バスの活用※ 桜島シャトルバスの増強※	西ゲート予約来場者に対する東ゲート前⇒西ゲート前への外周バスでの移動手段提供 桜島シャトルバスの始発繰り上げ・増便を実施



2. 来場者増加に向けた取組

※6/23協会理事会資料より抜粋

- 午前中に来場が集中・過去事例からも会期後半の大混雑することを踏まえて来場日・時間の分散を行う施策を順次実施中。

②来場日時の分散

開始日	方策	内容
4/13～	【来場日の分散】 予約枠の段階的引き上げ	交通状況・ゲート運営の状況を勘案しつつ、段階的に予約枠引き上げ
5/7	【来場時間の分散】 トワイライトキャンペーンの実施	夜間券の 1 時間前倒し入場（ 17 時→ 16 時）
5/13	【来場日の分散】 早期来場の働きかけ	大口購入企業への早期来場の呼び掛けを経済団体から実施
5/24	【来場時間の分散】 P&R 駐車場（全て） 15 時以降予約枠の割引	トワイライトキャンペーンと連動し、夕方以降の来場者の駐車場利用を促進。
5/25	【来場時間の分散】 アーリーゲートオープンの開始	ゲート前の混雑緩和・パビリオン予約時間に来館可能とするように前倒しゲートオープンを実施
7月上旬	【来場時間の分散】 店舗の営業時間延長※	店舗の営業時間の延長を実施し「夜楽しめる」環境づくりと退場時の混雑緩和を目指す

※現状は調整中であり、開始日・方策内容については変更の可能性あり



3. 運営課題の改善例（入退場関係）

※6/23協会理事会資料より抜粋

①入場のプロセス

（課題）開幕初日（12時台）に、東ゲート入場混雑の発生（入場待ち時間最大1.5時間程度）。

GW以降、来場予約枠の拡大に伴い、再び手荷物検査やQRコード確認の長時間化。

（対応）4月14日より、東ゲートに通信会社の基地局車を配置するとともに、入場ゲートにQRコード読込用Wi-Fiを設置済。来場者向けに、QRコードの事前印刷やスクリーンショット準備を働きかけ（HPを通じて情報発信）ハンディ読み取り機の更なる大量導入や、現場対応の工夫・迅速化の結果、入場予約枠を大幅に拡大。

②退場のオペレーション

（課題）開幕初日午後、東ゲートで退場者混雑発生（東ゲート退場レーンを一時閉鎖、夢洲駅への入場制限）。

今後、更に、来場者が増加し、それによる東西ゲート付近での混乱が予想される。

（対応）東ゲート前エリア（夢洲駅出口）から駅構内に至る来場者等の安全・円滑な動線コントロール、案内誘導方法についての博覧会協会と大阪メトロの連携改善。開幕以降最多の入場者数を記録した5/31は、来場者の東ゲート前広場での退場導線の変更、地下鉄メトロや府警との情報連携を実施。

③雨・暑熱対策

（課題）横殴りの雨に対して無防備、雨宿り場所が不足。暑熱に対する不安懸念が指摘。

（対応）雨具（ポンチョ・カッパ）等販売の強化（リング下で、公式ショップのサテライトショップ車でもポンチョを販売。）、前日の気象情報をもとに、雨しのぎのできる場所や屋根のある休憩所等の情報を集約・スタッフに共有し、当日の案内を強化。

暑さに応じて東西のエントランス広場でスポットエアコンによる送風、東エントランス広場で日傘の貸し出しを開始。第2交通ターミナルから第1交通ターミナルまでの歩行者動線及び会場内園路にミスト付扇風機を設置し適宜稼働。6月16日に、「日陰の創出・送風設備・給水設備の充実」「来場者サービス充実」「医療・救護体制の整備」の3本柱からなる「暑さ対策」を整理し、メディアに説明。



3. 運営課題の改善例（パビリオン予約、来場者案内等）

※6/23協会理事会資料より抜粋

④パビリオンの予約案内、待機列等

（課題）各パビリオンの入場方法（予約の要不要）、会場の混雑状況等の来場者向け事前情報発信の強化が必要。
加えて、予約システムに関して以下のような問題の指摘があった。

- ①朝から会場にいないと当日予約が取れない。（入場後に当日の予約が可能となるため）
- ②サイトにアクセスが集中して、待ち時間が長い、予約しようとする際に一覧で見られないなどシステムが使いにくい。

（対応）Visitors/HP上の「今週の万博」等において、パビリオン等の営業情報、混雑状況（予測/リアルタイム）、当日チケットの販売情報等を集約し、来場者向けに事前発信を強化。予約なしでも楽しめるパビリオンマップの公開。
各パビリオン毎に、待機列の作り方や入場待ち時間等の案内対策を実施。

予約システムについては以下のような改善を行った。

- ①複数のパビリオンの当日枠を午後に追加してもらうことで、朝から会場にいらなくても当日予約を取りやすくなるよう関係者と調整。
- ②データベースのスペックアップなどのシステム強化、当日登録画面の表示数増加や在庫表示の即応性向上などの使い勝手向上。

⑤会場内の施設等案内

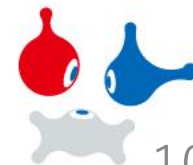
（課題）会場内でのトイレ等施設の案内が分かりにくい、来場者向け情報の発信が不十分

（対応）会場内案内所における案内対応の改善、HP上における公式マップのダウンロード・印刷促進、紙マップのお客様ニーズに応じた販売場所の見直しと会計レジの増設、トイレ案内板を会場内の約70ヶ所に設置、トイレの種類・数・位置に関するマップの公開、加えて、万博アプリの案内強化等の対策を随時、継続的に実施。

⑥案内スタッフの対応・質の向上

（課題）万博の運営を支えるスタッフの知識量に差があるため、お客様からの会場施設の場所等に関する質問に答えられないスタッフがいる。

（対応）お客様からのよくある質問（落とし物の保管場所、再入場の方法等）を集約し、スタッフに共有することで、サービスの質の向上を図る。引き続き、集約質問の数を充実させていく。



3. 運営課題の改善例（その他来場者ニーズへの対応）

※6/23協会理事会資料より抜粋

⑦スマホ充電

（課題）スマホの充電切れの際に、会場内で携帯充電できる場所が少ない

（対応）モバイルバッテリーのレンタルサービスの増備（400台程度→1,940台程度）

⑧喫煙所の設置

（課題）東ゲート前に2か所の喫煙所が設置されているが、会場西側などには喫煙所が無く不便である。

（対応）会場内喫煙所とする西エリア2か所に喫煙所を設置。

⑨会場内の照明

（課題）**会場内の暗がりにおいて、安全面に関する不安の指摘があった**

（対応）段差が生じている場所等、暗くて危険な箇所に照明を設置し対策を実施。

また、西エントランス広場に投光器を設置。さらに、今後も状況を確認の上追加の対策を実施予定。